

毎月１日発行
発行所　むらさき学園
発行者　家田光信
住所　〒617-0814
長岡京市今里 5－12－9
TEL（075）953 － 0505
・ホームページＵＲＬ
http:／／www.sepia.dti.ne.jp／~yoh-murasaki／
・Eメールアドレス
yoh-murasaki@jasper.dti.ne.jp

－面白い！の力－

園長　家田　美里

長い夏休みが終わり今日から二学期が始まります。一学期の疲れもすっかりとれ、パワーチャージ完了です。

年長児は七月にお泊まり保育を行いました。年長になると自分達でメニューと遊びを決め、園内で一泊します。今年は十七人全員の参加でした。お泊まり保育の前に保護者の方にアンケートを書いてもらい、お子さんの様子を聞きます。「とても楽しみにしている」「一人で寝るのが不安」「トイレが心配」など十七人十七色です。保護者の皆様の言葉に園では一番のお兄ちゃん・お姉ちゃんですが、まだ五歳児なのだと改めて気付きます。さて、当日は離れる時に涙が出る人もなくスタート、夕食作りから始めました。メニューが多かったのか、工程が多すぎたのか途中で集中力が途切れ最後は大人が必至でうどんを作る事に…。どんどん時間は押していましたが、楽しみにしていたおばけ屋敷はすることになりました。毎年カラーが違うお泊まり保育ですが、ここ何年かのおばけ屋敷は前もっておばけを作っていました。おばけ屋敷とはそういうものだと思っていたのですが、準備もなくすぐに始まったので様子を見に遊戯室へ行きました。中はとても暗く、よく見るとバスタオルを被って「おばけ～」と言っているだけ。なのに怖くて楽しいおばけ屋敷で子ども達の柔軟な発想に驚喜しました。そんなドタバタなお泊まり保育を終え、また一つ成長した年長児、全員とても良い顔で帰宅しました。

一学期後半、年中児に「つくりたい」という気持ちが芽生え、もの凄い集中力で上達する姿を目の当たりにしました。むらさき幼稚園では「皆でお絵描きしましょう」「歌を歌いましょう」という時間設定はありません。但し、子ども達がいつでもやりたい事ができるように準備はしています。興味がでた時に夢中になってやるからこそできるようになるものです。年中児たちはくるくる剣作りと三面体作りに夢中になりました。直径三センチくらいのゆるゆる剣から始まり、毎日何本も作り、気がつくと大人顔負けの細い剣が作れるようになりました。それを見ていた友達がその剣が欲しくなり、あっという間にくるくる剣作りの輪が広がり「かたいこうこくがいいでぇ」と材料選びも上達していきました。三面体も折り紙を折りキレイに作れるようになりました。初めは担任が組み立てていましたが今では自分達で組み立てられるようになっています。その姿を見た友達が興味を持ち、例年なら年長の三学期にできるような細いくるくる剣や三面体を年中の一学期にできるようになりました。

又、この時期、幼稚園探しをされている保護者の方に「オムツがとれていないとダメですか？」と聞かれます。大丈夫です、子どもが自分で「もういい」と言う日は来ますと応えています。子どもの力は大人が手を加えようとすると萎縮してしまい発揮できません。子どもが「面白い！」「今だ！」と思った時に凄い力が発揮されるのです。それが製作意欲であってもオムツであってもです。子ども夫々が持っている力を大いに発揮できるように私は見守っていきたいです。

	月のねらい	解説
九月	歓喜踊躍（かんきようやく） よろこびおどる境地あり。	遊びに集中すれば自ら喜びを得ます。子どもの遊びは生活そのものであり夢中で遊べる心はとらわれが全くないので「無心」と言われます。「無心」で生活する子どもはよろこびおどる境地そのもの、即ち自然なのです。
十月	自策自励（じさくじれい） 自分で考え自分で努力する。	子どもは感じて、思い、そして考えるという感性豊かになる事が自分自身への努力となっています。豊かな感情をより豊かに受けとめてくれる大人が側にいれば、より豊かにふくらみます。
十一月	発心修行（ほっしんしゅうぎょう） 個々に目標をみつけてそれに集中する。	自己課題を自分で見い出し、無心になる程熱中し、その中で競争相手であるライバルを見つけ、競い、学び合い、助け合う。評価は自分自身でなされる為、反省となり、次なる発心の指針となる。
十二月	脚下照顧（きゃっかしょうこ） 親子共々に静かに反省のとき。	子どもは親を、そして先生や大人を真似て成長します。この社会に伝え残したい文化、守らねばならないルールを私達は日常生活にいかして生活しているでしょうか、真摯な態度で反省しましょう。